

主催・お問い合わせ : 公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 03-3515-5261 (平日10-18時) www.smf.or.jp 共催:公益財団法人東京都交響楽団 後援:日本赤十字社

第65回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート

見どころ・聴きどころ

本公演の大きな話題は、2021年ジュネーブ国際音楽コンクール チェロ部門で日本人初の優勝を果たした 上野通明の出演。数多の受賞歴を誇る彼だが、この欧州最上位の登竜門での優勝は、抜群の技巧のみならず、

豊かな音楽表現が評価されたことを意味している。それゆえ**今の彼は必聴**だし、急遽出演が決定した本公演は、国内では優勝後初の協奏曲の演奏。共に初共演となる広上淳一&都響から新たな刺激も受けながら、チェロの魅力満載の雄大な名作・ドヴォルザークの協奏曲をいかに奏でるか?まさに大注目だ。

生気溢れる名指揮者・広上が、最高度の技量を有する都響と紡ぐ音楽も当然聴きもの。ドヴォルザークの協奏曲の重層感、そしてリズムが弾む人気曲ベートーヴェンの交響曲第7番の躍動感や疾走感への期待も大きい。

また本公演は収益の一部が日本赤十字社に寄付される。**クラシックの王道名曲を最高水準の演奏で堪能しながら社会貢献もできる** となれば、むろん見逃す手はない。 (音楽評論家・柴田克彦)

広上 淳一〈指揮〉

Junichi HIROKAMI, Conductor



東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトへボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ボルティモア響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェ

ルディ響、リール国立管、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。

国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。

2003年、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼芸術顧問。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

上野 通明 ⟨チェロ⟩

Michiaki UENO, Cello



パラグアイに生まれ、幼少期をスペイン・バルセロナで過ごす。

2009年「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール」に13歳で日本人初の優勝。翌2010年「ルーマニア国際音楽コンクール」最年少第1位・ルーマニア大使館賞・ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞。2014年「ヨハネス・ブラームス国際コンクール」優勝。2021年「ジュネーヴ国際音楽コンクール」チェロ部門日本人初の優勝・併せて3つの特別賞受賞。

ソリストとして、ワルシャワ国立フィルハー モニー管、スイス・ロマンド管、ロシア響、ジリナ室内管、読売日響、新日本フィ ル、東京フィル、東響など、国内外のオーケストラと多数共演。また、ジャンギャ ン・ケラス、ダニエル・ゼペック、ホセ・ガジャルド、堤剛、諏訪内晶子、伊藤恵等、

著名アーティストと共演し好評を博す。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKBS「クラシック倶楽部」、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。

「ローム ミュージックファンデーション」「宗次エンジェル基金」「江副記念リクルート財団」奨学生、岩谷時子音楽文化振興財団より「Foundation for Youth」「岩谷時子賞」奨励賞。「京都青山音楽賞」新人賞受賞。

これまでに故・馬場省一、イニアキ・エチェパレ、毛利伯郎各氏に、現在ピーター・ウィスペルウェイ、ゲーリー・ホフマン各氏に師事。更なる研鑽を積みながら、主にヨーロッパと日本で積極的な演奏活動を行っている。

使用楽器は1758年製P. A. Testore (宗次コレクションより貸与)。

東京都交響楽団〈管弦楽〉

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名 營指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる"サラダ音楽祭"を開催するなど、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー:交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。

公式WEBサイト https://www.tmso.or.jp/

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う"命の贈り物"です。

本企画は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年よりスタートしました。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞しました。

当公演の収益は、どんな非常時においても、誰でも、いつでも、安全に献血で治療を受けられる環境がより整うことを願い、"献血運搬車の購入・整備等の血液事業への充当"に目的を限定して日本赤十字社に寄付いたします。

このコンサートの主旨をひとりでも多くの方にご理解いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人ソニー音楽財団

2020年度(第64回)までの累計寄付金額:112,605,892円



1/25 1/25 [火] 19:00開演 東京国際フォーラム ホールC

東京フィルハーモニー交響楽団 ROLAND (管弦楽) (イベント・ホスト)

主催:公益財団法人ソニー音楽財団 協賛:ソニー生命保険株式会社/ソニー銀行株式会社



公演プログラムやイベントの詳細は、1月に発表予定です。

ゴールデンウィークに開催決定! 2022年

5/4 (水·祝) ~**7**(土)

サントリーホールぉょび アーク・カラヤン広場等 周辺施設

主催:公益財団法人ソニー音楽財団 / 公益財団法人サントリー芸術財